

「令和6年度 職員総会 ～K's meeting～ 2024」

合同総会実行委員

メディカルフィットネスこうなん 河内 信介
ほほえみ保育園 齋藤 尚美

令和6年10月27日（日）、こうなん医療福祉グループ特定医療法人自由会（以下 自由会）と社会福祉法人敬友会（以下 敬友会）の第一回合同総会～K's meeting～ 2024を岡山市灘崎文化センターにて執り行われました。

今年度のテーマは「交流」です。自由会、敬友会の連携を深め、益々の発展を目指すことが目的となります。

前半の内容は両法人（自由会・敬友会）の紹介や各法人で力を入れている取り組みについて、自由会からは今年開設した「暮らしの保健室」での活動報告、敬友会からは「海外人材の動向」、「ICTの力で変わる介護現場」の発表をしていただきました。

各法人本部からは、職員同好会活動報告があり、仕事以外でも、生き生きと活躍している職員の様子を知ることができました。

また、職員・部署表彰では各法人の各部署で笑顔がすてきな職員を選出し、その中から選ばれたトップオブ笑顔賞と各部署の取り組みについて表彰しました。

後半の内容は今年のテーマである交流を図るため、「法人対抗戦」を行い、「30秒チャレンジ」「玉入れ」「紙ひこうき飛ばし」の3つのゲームで対決しました。

30秒チャレンジでは、ストップウォッチを使い自分の感覚で30秒に近い秒数で止めるゲームでしたが日頃の業務での集中力を生かし好タイム!?が連続していました…

玉入れは、3回勝負を行い10人1チームで協力し多くの玉をカゴに入れていました。

最後の紙ひこうき飛ばしは、参加職員全員が一斉に紙ひこうきを飛ばしターゲットになる職員の網や台などに入れることができるか競いました。

今回の対決は3つのゲームすべて自由会が勝つことができ完全勝利を収めました。

対抗戦の準備にあたり、玉入れの玉は「敬友会 中庄デイサービス」の利用者の方々が心を込めて作ってくださった赤白の玉を使い、紙飛行機は敬友会の障害者雇用の方が一枚一枚丁寧に折ってくださったものを使用しました。

職員だけでなく、利用者の方々の準備の力でこの対抗戦が楽しく交流が図れ、すてきな時間が過ごすことができました。

最後になりましたが、総会実行委員は敬友会6名、自由会3名合計9名で「交流」という目標達成のため、チーム一丸となり準備をすすめてまいりました。初めての合同の総会を通し、仲間（チーム）の大切さを学ぶことができました。

今後も自由会と敬友会の両法人の交流を深め医療福祉のサービスを切れ目なく提供できるチーム体制を作り、地域の皆様が住み慣れた場所で充実した生活が送れるよう努めてまいります。



第48回全国デイ・ケア研究大会2024 in 札幌・北海道

岡山光南病院 通所リハビリテーション 理学療法士
正木 寛

大会テーマ

「Be ambitious！ 一歩先へ デイ・ケア再興～24年同時改定を力に変えるために～」

2024年6月28日～29日に北海道札幌市の「かでの2・7」で開催された「第48回全国デイ・ケア大会2024」に参加し、医療・介護・福祉同時改定直後の状況を強く実感しました。今回の改定に活路を見いだし、より良いサービスを提供するためのヒントを数多く得ることができました。

口述発表では、当事業所で運動麻痺と高次脳機能障害を呈する方の自動車運転再開と復職に向けた取り組みを発表しました。当事業所の利用者様の中で、40～50代で脳卒中を発症され、復職や自動車運転の再開を希望される方がおられます。失語症や注意障害といった高次脳機能障害によるコミュニケーションの困難さ、情報収集の不足、疾患や体調の自己管理の難しさなどの課題を抱えています。これらの課題を克服するため、コミュニケーション訓練、情報提供、生活支援、運転適性評価などの支援を行いました。当事業所では、多職種で構成されるリハビリテーション会議を定期的に開催し、利用者様、ご家族、医師、他事業所の職員と密に連携しています。会議では、利用者様の最新の評価結果を共有し、各々の専門性を活かして、リハビリテーションの方針やサービス内容を検討しています。利用者様の状態に合わせて柔軟に対応することで、リハビリテーションの効果を高めています。同様の疾患を抱える方への取り組みを発表された他の演者の方々との意見交換は、新たな視点を獲得する貴重な機会となりました。

他の演者の発表では、前回の改定を踏まえた取り組み報告や、活動と参加に特化した内容が多く見られました。これらの発表は、当事業所の取り組みと比較検討できる点が多く、参考になる情報が満載でした。

井の中の蛙 ～アジア太平洋OT学会～

岡山光南病院 作業療法士 有時 由晋

この度、11月6日～8日に北海道で開催された第8回アジア太平洋作業療法学会に参加してきました。この学会は4年に1度の周期にアジア各国で開催されており今回は初めて日本で開催されました。国際学会に参加するのは初めてで、緊張しながら会場に入ったのですが、まさかの第一声が日本人から「Where are you from?」でした。日本国内の学会で、まさか自国の出身を尋ねられるとは思っておらず、驚きすぎて、思わず『あれ、私は日本人だったか?』とってしまいました。

この学会はアジア30カ国以上の国と地域から総勢2000名を超える多くの方が参加されていました。今回の学会で改めて“井の中の蛙”であった自分に気づきました。同じ作業療法士でも、文化や環境が異なれば考え方も支援の形も大きく異なります。例えば、日本ではリハビリの成果を数値や動作の改善で示す傾向がありますが、他国では生活全体の幸福度に重点を置いたアプローチが多くみられました。ある発表では、福祉用具を購入、レンタルできない貧困地域で3Dプリンターを用いて自家製の自助具を安価で作成する取り組みが紹介されていました。多様な発表を通じて、改めて自分の働き方や対象者との関わり方を考えるきっかけになりました。また、日々の仕事を記録やデータとして残し、他者と共有していく大切さも痛感しました。自分の限られた知識にとらわれず、多方面から知見を取り入れていくことで、患者さんや地域住民にも還元できると思います。



国際学会での経験を糧に、これからも視野を広げ、日々の仕事に取り組んでいきます。そして次回の学会では、自らの取り組みを形にして発表し、堂々と『I'm from Japan.』と言えるよう、一歩ずつ成長を重ねていきたいと思っています。



特に、自身の口述発表で意見交換を行った方々との間で、共通の課題や問題点、そしてその解決に向けた取り組みについて活発な議論が交わされました。他の事業所でも

同様の課題を抱えていることを知り、同時に、その解決策となるヒントを得ることができました。

今回の学びを踏まえ、当事業所の通所リハビリテーションサービスの質を一層向上させるため、スタッフへの情報共有と検討を進めてまいります。具体的な改善点や施策などを通所リハビリの職員間で検討し、より効果的な支援へと繋げていきたいと考えています。

6時間リレーマラソンに参加しました！

こうなんクリニック 医師 松尾 則行

10月13日（日）、岡山県総合グラウンド内のシティライトスタジアムで開催された6時間リレーマラソンに参加してきました。リレーマラソンというのは、スタジアム内外をつなぐ1周 約1.1kmのコースをタスキをつなぎながら、6時間で何周回れるかを競うものです。大会としては第12回目の開催になりますが、自由会としては、2017年、2023年、そして今年と3回目の出場になります。人気も高く、早々に募集定員に達して参加できなかった年やコロナ禍で大会自体が開催されなかったりと、5年以上の空白を挟み、去年からまた再参加したところです。ちなみに2017年の初参加が、私がフルマラソンに足を踏み入れるきっかけになりました（余談です）。

参加者は、自由会内の有志12名（男女6名ずつ、定員12名まで）で医師、看護師、事務、ケアマネジャー、インストラクター、技師の多職種混成チームで、初心者～フルマラソン3時間切りの超プロまで経験値もさまざまでした。

10時スタート時点ですでに20℃を超えており、最高気温27.3℃まで上昇、とても10月とは思えない暑い日でした。それぞれの体力や思いに準じて、好きなだけ走ればよく、1周×2回のみで終えた人もいれば、1回数周を何度も走る、とさまざまでした。ただ「タスキをつなぐ思い」は皆同じで、汗で濡れて重くなったタスキを受け取ると、「自分も頑張らねば」と気合が入ります。途中でしんどくなったり、体中が痛くなり、一人だと諦めてしまう場面でも、「仲間のために頑張ろう」という熱い思いが湧いてきて、リレーマラソンならではの醍醐味を味わうことができたと思います。

結果6時間で59周（68.6km）、総合順位 243位 /527チーム、職場対抗の部 136位 /301チーム（去年は、総合 300位 /501チーム、職場対抗の部 152位 /268チーム）と去年を上回る好成績で、皆の頑張りが結集したうれしい結果でした。

ちなみに、走っていない時間にはスタンドから応援したり、おやつを食べながら談笑したりと、職場を離れて交流する大切な時間も持つこともできました。後日、参加者で慰労会も開催しました（焼肉屋で）。

「走ることはしんどい、無理無理」と思い込んでいる食わず嫌いの方、職場の他職種と交流する機会を持ちたい方等、ぜひとも来年は一緒に参加してみませんか。リレーマラソンならではの熱い感動をぜひとも味わっていただきたいと思います。

ちょっとした勇気が、新たな人生の第一歩になるかもしれませんよ。



共生苑デイサービスセンターとの交流会

ほほえみ保育園

10月18日に社会福祉法人敬友会 共生苑 デイサービスセンターへ遊びに行きました。

保育園の子どもたちは毎日、歌と踊りの練習をし、「がんばるぞー！」と待ちに待った訪問でした。今年はまだまだ暑い中でしたが、誘導リングを持ち、お出かけしました。

デイサービスセンターの部屋に入ると、ご利用の方が手を振って出迎えてくれました。

歌は「トンボのめがね」、「こおろぎ」、踊りは「ジャンボリーミッキー」の披露をしました。最後は子どもたちが作ったプレゼントを渡し、お土産をいただいて帰りました。

ご利用者の方から、「また遊びに来てね」と温かい言葉いただき「バイバイ」と手を振って帰りました。子どもたちの頑張っている姿を見ていただき、みんなが笑顔の時間を過ごすことができました。



第2回 自由会☆子ども参観日

こうなんクリニック事務長代理 小林 麻衣子

令和6年7月31日（水）職員のお子さん9名に参加してもらい、昨年に続き、『第2回自由会☆子ども参観日』を開催しました。この『子ども参観日』は保護者等の働く姿を間近で見ることにより、自分の将来や『働く』ということについて考えたり、家族で仕事について話し合うなど、コミュニケーションを深めたりする目的で岡山県教育委員会が推進している取り組みです。

当法人では、病院長や看護部長との名刺交換や、質問コーナー、院内ツアー、看護師とリハビリ専門職のお仕事体験などを実施しました。看護師のお仕事体験では、血圧計を使って血圧を測ったり、患者さんが飲む水にトロミをつけて、実際に飲んだりしました。リハビリでは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がしている仕事を体験し、実際の仕事の内容を楽しく理解できました。院内ツアーでは、病棟入院中の患者さんが、お子さんと話をしたりして、ほっこりする場面もありました。

最後に参加してくれたお子さんに感想を発表してもらい、お母さん、お父さんと振り返りを行いました。今回の『子ども参観日』をきっかけに少しでも病院や病院で働く職員のことについて興味を持ってもらえるとうれしいなと思いました。参加してくださった皆さんありがとうございました！



花粉症の薬について

岡山光南病院 薬剤科 尾崎 伸也

花粉症は、春や秋に花粉が空気中に飛散する時期に、鼻水、くしゃみ、目のかゆみなどの症状が現れるアレルギー疾患です。花粉症の薬は、これらの症状を軽減するために使用されます。主に以下のような種類があります。

飲み薬

口から薬を服用することで、全身のアレルギー反応を抑えることができます。全身に効果がありますので、花粉症だけでなく全身のかゆみなどにも使用されます。副作用として、眠気が生じるものが多く、そういったお薬を服用する場合は、車の運転や、危険を伴う機械操作が禁止されます。眠気が少ない、ほとんど無いお薬もありますので、どうしても車の運転などが必要な方は診察をする際に医師にご相談ください。



点鼻薬

点鼻薬は、鼻の内側に直接スプレーして使用する薬です。これにより、鼻水やくしゃみを抑える効果があります。通常の使用量では全身に作用することはほとんどなく効果が鼻だけに限定されるので、眠気などが起きることはほとんどありません。



点眼薬

点眼薬は、目に直接薬液を投与することで、目のかゆみや充血を軽減するために使用される薬です。これにより、目のかゆみや充血が軽減され、快適に過ごすことができます。こちらも通常の使用量では全身に作用することはほとんどなく、効果が目だけに限定されるので、眠気などが起きることはほとんどありません。



その他の治療法

花粉症の治療には、薬だけでなく、予防策も重要です。例えば、マスクを着用することや、家の中で空気清浄機を使用することなどが効果的です。また、専門医に相談し、適切な治療法を見つけることも大切です。



薬の開始時期について

花粉が飛び始める1～2週間くらい前から使用を開始すると効果的です。早めに医師にご相談ください。



ペーパーアートへの招待状

岡山光南病院 病棟看護師

私とコラージュの出合いはマスキングテープがきっかけでした。私はマスキングテープが好きで以前から集めていましたが、その量が多くなり「どうしたものか」と思い、“マスキングテープの活用”と検索したところ、コラージュと出合ってしまった。（今回掲示させていただいたタイトルにはペーパーアートとさせていただきますましたが一般的にはコラージュと言われます。）それから100均に走り（笑）材料を購入し、見よう見まねで始めました。

コラージュに正解はありません。自分の好きなように好きな物を重ねていくことでいろいろな表情をしてくれます。その人の個性やその時の自分の感情が表出され、振り返るとその時の気持ちを思い出すことができます。また自由であり貼り直しも可能であるため簡単に始めることができます。始めは一人で趣味程度に行っていましたが、今回のお話をいただき、病棟スタッフ数名で作成させていただき、皆で集まりワイワイ話しながら行ったコラージュたちはいろんな表情をしています。作品作りを通じて刺激を受け、また人とのつながりを感じました。

皆さまがギャラリーを通じて少しでも日常を忘れ、ほっこりしていただければ幸いです。またこの作品作りをきっかけに来年度からは「クラフト同好会」を設立し活動していくこととなりました。コラージュをきっかけに、このように病院内で同好会まで活動させていただくことに感謝しかありません。



基本理念

すべての患者さんが身体的、社会的状況に応じた最適な医療が受けられる病院および診療所を目指します。

理念に基づく方針

- ① 私達は地域医療機関や保健福祉施設と密接な連携をとり、きめ細やかな心配りのある医療を目指します。
- ② 私達は患者さんに対して十分な説明を行い患者さんの選択に基づいた開かれた医療を行います。
- ③ 私達は患者さんの権利の尊重とプライバシーの保護を行います。
- ④ 私達は患者さんに満足いただける医療およびリハビリテーションを目指します。
- ⑤ 私達は人の和を大切にチーム医療を進めます。

患者さんの権利章典

- ① 患者さんは医療を平等に受ける権利がある。
何人も平等に医療を受ける権利がある。
- ② 患者さんは、一人の人間としてその人格や価値観などを尊重される権利がある。
患者さんは、医療の場において、人格・価値観など人間としての尊厳を最大限に尊重される権利がある。病院職員は、このことが人間として当然の権利であることに思いをはせ、患者さん中心の医療を推進する。
- ③ 患者さんは、十分な説明を受ける権利がある。
(説明と同意および理解と選択の権利)
検査成績、診断、治療方法、今後の見通し等について分かりやすい言葉や方法で知りたいことに対し十分な説明を受ける権利がある。その上で治療方法等を自分の意思で選択または拒否する権利と責務がある。
- ④ 患者さんは、プライバシーが守られる権利がある。
診療の過程で得られる個人情報の秘密が守られます。
- ⑤ 患者さんは、カルテを知る権利がある。
自分の診療に関する情報に対して、知る権利がある。
当院の定めるところの形式に従い、カルテの開示請求ができる。
- ⑥ 患者さんは、セカンドオピニオンを受ける権利がある。
他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関へ紹介を受ける権利がある。
- ⑦ 患者さんは、良好で快適な環境で医療を受ける権利がある。
全ての患者さんは、良好で快適な療養環境のもとに医療を受ける権利がある。
- ⑧ 患者さんは、健康教育を受ける権利がある。
健康を維持するために必要な健康教育を受ける権利がある。

外来診察担当医表

令和7年1月1日～

	診察時間	月	火	水	木	金	土
内科	9:00 ～12:00	橋本	西田	梅田	橋本	西田	担当医
		梅田	担当医	岡田/ 担当医	原田		
	15:00 ～18:00	宮森	宮森	梅田	原田	宮森	
整形外科	9:00 ～12:00	鈴木	鈴木	鈴木		鈴木	鈴木
			鈴木			鈴木	
	15:00 ～18:00						
内視鏡(胃・予約)	9:00 ～12:00		橋本			梅田	河合
摂食・嚥下(予約)	14:30 ～15:00		担当医			担当医	

内科 胃腸科 循環器科 整形外科 リハビリテーション科

* 内科非常勤 岡田(内科・脳卒中) 原田(内科・放射線科)

* 受付時間 午前 8:30～11:30 月～金曜午後 14:30～17:30

* 診察時間 午前 9:00～12:00 月～金曜午後 15:00～18:00

休日 日曜・祝日

* 外来診察表は、都合により変更することがあります。お電話でお確かめ下さい。



医療法人 自由会 岡山光南病院

岡山市南区東畦767-3 TEL 086(282)0555

ホームページ <http://medical-jiyukai.jp/>